

## あゆみ

J C H O  
二本松病院

二本松市成田町1-553

TEL.0243-23-1231

FAX.0243-23-5086

<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>

発行者: あゆみ編集委員会

## 第8回 二本松病院地域協議会を開催しました

第8回二本松病院地域協議会を、平成30年2月14日(水)二本松病院2階の会議室において、開催しました。福島県県北保健福祉事務所所長をはじめとして、総勢9名の方にご出席いただき活発な意見交換が行われました。

冒頭、六角院長から当院のかかえている課題の1つである医師不足について、今後とも医師確保に努めていきたいとの意思表示や、今年4月からの診療報酬改定に対しては地域で連携をとっていききたいとの考えが述べられました。

その後大類事務長より、当院の収支状況や患者数等についての報告を行い、安田総看護師長からは、平成30年2月1日に開所した附属訪問リハビリテーション東和サテライトについて、その人らしい人生を決裁するためにより多くの方々に利用してもらいたいとの思いと、糖尿病認定看護師・感染管理認定看護師については、今後院内での活動の他に地域に向けて様々な活動をしていきたいとの抱負も述べられました。

参加者からは、福島の人手不足が深刻であることなどの意見があった他、二本松市役所の出席者からは、平成30年9月には子育て包括支援センターを開所予定である旨のご報告と、小児科医と産科医の確保に向けて二本松病院と協力していきたいと発言されました。そして、6か所の地域包括支援センターの中で、最も人口の多いところを積極的にそ

して丁寧に取り組んで頂いていると感謝の言葉もいただき職員の励みになりました。

消防本部の出席者からは、出動件数や搬送人員の報告の他、二本松病院での収容件数が増加していることに触れられ、また、病院研修の実習受け入れについても今後ともよろしくお願ひしたいと感謝の言葉を頂戴しました。

最後に、柳沼副院長から「人手不足ではあるがJCHOの使命を全うしたい。皆様の協力を得ながら、職員一同地域に貢献出来るように頑張っていきたい」とのあいさつで、協議会は閉会となりました。

総務係長 安部 徹





## 老健施設で看護実習生を受け入れしました

2月19～20日、3月5～6日に国際医療看護福祉大学校、看護学科通信課程の老年看護学生の実習を受け入れました。(県内の医療機関で働く4名の准看護師が実習を行いました。)

実習内容は、老年期看護を行う上で当院の看護師が心がけていることや、当院での対応等を含めた看護業務での内容でした。チーム医療を円滑に進めるための多職種カンファレンス、患者様が退院後に不安なく良い医療サービスを提供されるために必要な地域連携の役割と活動の実際について等、地域完結型医療に添った看護を学んだ2日間でした。実習を終えた学生からは、「老年期看護は、看護師が入院中に患者様のアセスメントをしっかりと行うことで、行政や各種サービスを含めた多職種間での有意義な情報共有がなされ、退院後も自分らしく地域で生活出来ることに繋がることを学びました。」と

の言葉が聞かれました。仕事と学生の両立は大変ではありますが、今後も自己の目標達成に向けて頑張ってくださいと思います。ご協力いただいた患者様や関係部署の方々に感謝いたします。

3階看護師 佐藤 陽子



## リハビリテーション作品展・表彰式を行いました

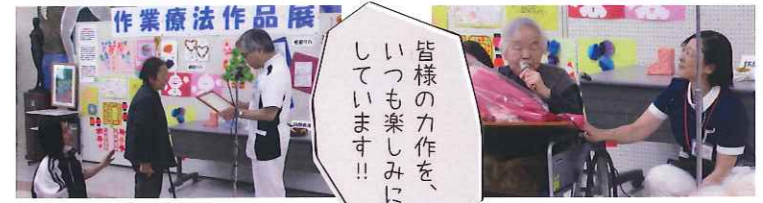
2月16日～25日の10日間、二本松病院の玄関ホールで作品展をおこないました。

病院、訪問看護・リハ、附属老健の患者様、利用者様がリハビリの一環で作成した絵・手芸・折り紙などの作品数十点が玄関ホールを彩り、23日にはリハビリテーションの発展と啓発に貢献されたことに対し六角院長から感謝状が贈呈されました。

「表彰されるなんて小学校の時以来です」等といった受賞者らの喜びの言葉や、作品づくりのエピソードに、ホールに集まった皆様からも「感動しました」との声をいただきました。

次回の作品展はどのような心動かす作品・エピソードに出会えるでしょう。楽しみに。

附属老健 主任作業療法士 前平 奈加



皆様の力作を、いつも楽しみにしています!!



## 介護福祉士の実習生を受け入れしました

平成30年1月16日(火)～2月2日(金)に福島看護専門学校の学生さんの基礎看護学実習Ⅱを受け入れました。患者様の療養の場を知り、看護援助を学ぶための目的で12日間行いました。

3階、5階病棟で学生一人ずつ患者様を受け持ちさせていただき、コミュニケーションを通じて、患者様に必要な看護援助を考え計画立案し、スタッフと共に看護ケアを行いました。学生たちは緊張しながらも患者様やご家族の方、指導スタッフからの言葉や、笑顔に励まされながら、看護の楽しさを感じながら実習に臨むことができたようでした。

実習にご協力いただいた患者様、ご家族の方およびご指導いただきました関係部署のスタッフの皆様、ありがとうございました。

3階看護師 畑中 恵子

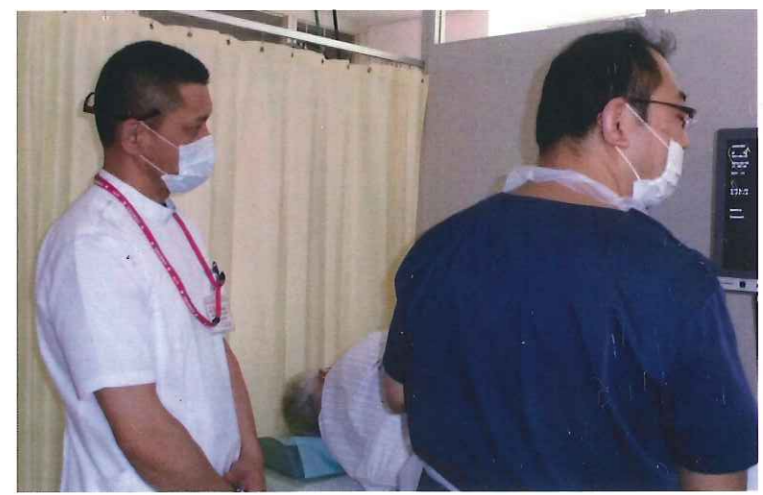


## 救急救命士病院研修を開催しました

平成30年1月29日(月)から3月3日(土)にかけて、安達地方広域行政組合消防本部の救急救命士4名の方が当院で研修を行いました。

救急救命に関する知識及び技術の向上をはかるとともに、医療機関との連携強化を目的とした昼夜通しての研修でした。救急対応の実践以外にも、外来診療や透析室、理学療法室等を見学して頂きました。私達病院職員が救急救命士さんから学ぶことも多く、交流を深められたことは、当院にとっても有意義なものでした。これからもお互いに協働し、地域の皆様に安心を提供していきたいと思っております。ご協力いただきました皆様に感謝いたします。

臨地実習指導者会 五十嵐 礼子



# 訪問リハビリ

## 東和サテライト開所しました



訪問看護ステーションの東和・岩代地区を拠点とする訪問看護に続いて、今年度は訪問リハビリステーションを平成30年2月1日(木)に開所しました。「地域への貢献」という理念のもと、皆様のご指導とご支援をいただきながら、訪問リハビリを開設することができましたことを、この場を借りて深く感謝申し上げます。

さて、訪問リハビリの目的は、理学療法士と作業療法士が利用者様を訪問し、医師、看護師、ケアマネジャーと連携しながら、「日常の暮らし」において、利用者様がより良く生きるための「支援」を行うことです。「自分らしい生活」を続けていくために、ご利用者様・ご家族様の希望を聞きながら、実生活に即した環境の中で最適なりハビリを提供してまいります。

また、生活につながる動作訓練・介助方法や福祉用具・住環境の助言も行います。利用者様の状態や

希望、自宅環境に応じて実施するので、個別性が高く、ひとりひとり実施内容が異なります。訪問リハビリでは、利用者様の「夢」を叶えることを目標としており、利用者様の生きる活力を最大限に発揮できるよう支援してまいります。

なおご不明な点がありましたら、

☎0243-22-6266

までご連絡ください。

主任理学療法士 赤岡 智行



栄養管理室では、患者様に行事食を提供しています。

今月は、ひなまつりの行事食を紹介いたします。

メニュー  
紹介

・ちらしずし ・すまし汁 ・白和え ・桜もちゼリー

### 編集後記

桃の節句を過ぎ、暖かい春が待ち遠しくなってきましたが、三月は別れと出会いの月でもあり、定年退職や異動により今まで一緒に働いてきた仲間が代わります。今までありがとうございました。そして、これからも引き続き二本松病院をよろしく願います。 Y・M記